

Yamanashi

PT

山梨県理学療法士会会報誌

SUPPOrters

サポーターズ No.134 2012 夏号

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 694 名 施設数 98 (6月1日現在)



▲ 平成23年度 山梨県理学療法士会総会

Contents

平成 23 年度山梨県理学療法士会総会議事録… 2 ~ 8

各部活動報告… 9 ~ 12

生涯学習部・広報部・医療保険部・介護保険部

スポーツPT部

お知らせ… 13 ~ 15

事務管理局・日本早期認知症学会・学術研修部

地域連携部・学術集会部

リレーエッセイ Part 16 … 16 ~ 17

原稿募集… 16

編集後記… 17

[supporters(サポーターズ)] とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、
supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

平成23年度 山梨県理学療法士会 総会議事録

- 日 時：平成24年4月20日(金) 午後6時30分～19時30分
- 会 場：大木記念ホール
- 議 長：清水・藤田 ●書 記：依田・作地 ●議事録署名：武井・向

第1号議案 平成23年度事業決算報告

会長) 県士会総会、理事会、新人教育プログラム（I－1講義）、士会監査、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議、慶弔関係、全国学術研修大会実行委員会、連盟に出席

副会長) 理事会、担当部局会議、健康科学大学入学式・卒業式に出席

監事) 中間監査、最終監査の実施

代議員) 第40回 社団法人日本理学療法士協会定期総会出席

事務管理局)

総務部

会員動向の把握・諸手続き

士会員への事務連絡（各種発送を含む）

慶弔関係の諸手続き

理事会開催（計12回）

定期総会・中間監査・最終監査開催

関係団体との提携及び協賛・後援依頼の回答

インターネット接続管理

団体総合保障の更新

事務管理局会議の開催・諸会議への出席

包括的会員管理システムへの移行準備

平成23年度交流会の開催

東日本大震災義援金として、3月28日 日本赤十字社へ85,680円振り込み

財務部

協会本部協会費納入手続き

協会本部口座登録手続き

什器備品在庫目録・財産管理

中間監査・最終監査の開催

諸会議への出席

広報局)

広報部

理学療法週間の活動、グッズの作成（エコバック、県士会パンフレット）、「いきいき山梨ねんりんぴっく2011」にて啓発活動、公開講座にて啓発活動

会報部

士会会報誌「Supporters」の年4回発行、部内会議開催、士会活動に対し、取材活動の実施

HP管理部

山梨県理学療法士会ホームページ更新・作業、理事会にて情報収集、ホームページレイアウト等の検討および変更

学術局)

生活学習部

プログラムI－1、2（会場：山梨県立青少年センター 第一研修室）

プログラムI－4、6（会場：山梨県立青少年センター 多目的ホール）

プログラムII（会場：石和図書館2F 視聴覚室）

プログラムIII（会場：石和図書館2F 視聴覚室）

学術集会部

第15回山梨県理学療法士会学術集会開催

特別講演、一般演題（42演題発表）

参加者：会員255名（会員248名 非会員2名 学生5名 託児室利用者（児）数5名）

学術研修部

第1回学術研修会 テーマ：「口腔内における喀痰等の吸引」

第2回学術研修会 テーマ：「物理的刺激（温・冷・電気）を理学療法に活かす」

～痛み、関節拘縮・筋機能障害を中心として～

第3回学術研修会 テーマ：「糖尿病の理学療法～基礎・神経障害・生理～」

第4回学術研修会 テーマ：「車椅子のシーティング～基礎と評価～」

社会局

委託事業部

テーマ別介護講座、いきいき山梨ねんりんピック2011、地域リハビリテーション従事者研修会、高齢者権利擁護等推進員養成研修、高齢者権利擁護等事例等検討会、巡回腰痛教室を開催

スポーツ理学療法部

スポーツ理学療法勉強会（年3回）

競技スポーツ（女子山梨甲府オープンテニス大会、全国高校野球選手権山梨大会）

チーム（10チームをサポート）

講演・講習（土会またはスポーツ部への依頼に随時対応）

その他（いきいき山梨ねんりんピック、インターハイボランティアスタッフ募集、全研山梨県士会企画セミナー）

研修会（部員対象：理論・実技等）

企画局

公開講座部

車椅子からの出発（たびだち）～絶望の淵から這い上がるまでの軌跡～を開催

企画研修部

企画研修部研修会を年2回開催

「臨床実習指導について～クリニックラクシップの基礎と学生の行動を如何にしてかえるか～」

「これから私達に求められる接遇について」

調査研究部

公開講座アンケート調査及び集計

40周年記念事業のアンケート調査集計

第15回山梨県理学療法士会学術集会のアンケート調査集計

部内会議開催

福祉厚生局

医療保健部

医療・介護診療報酬同時改定に関する情報入手とHPへの掲載

医療・介護報酬に関する基礎的勉強会の実施

医療保険に関する問い合わせへの対応

介護保険部

医療・介護報酬に関する基礎的勉強会の開催

介護報酬に関する問い合わせの対応

介護保険改定の情報収集と情報発信

地域連携部

理学療法相談窓口についての広報活動

理学療法相談窓口の対応

第11回地域理学療法研修会に向けた検討（会議開催：6回）

第11回地域理学療法研修会：『在宅生活を支えるために…』～理学療法士としてどう関わるか～を開催

いきいき山梨ねんりんピックでの理学療法の広報活動及び相談対応

地域理学療法についての情報収集

法人化実行委員会)

協会・各都道県士会及び他の関係団体の法人化に対する動向調査（適時）

法人格取得に向けた問題点等の整理

選挙管理委員会)

平成 23 年山梨県理学療法士会総会日（候補者報告、当選証書授与）

40周年記念事業検討委員会)

40 周年記念事業検討委員会会議

調査研究部と打ち合わせ

各原稿依頼書及びアンケート依頼書発送

各原稿回収

中川印刷へ印刷依頼及び打ち合わせ

訪問理学療法委員会)

「第2回訪問リハビリ・地域リーダー研修会」出席

「三士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会」出席

第1回訪問リハビリテーション従事者研修会 第4回参加・協力

「全国訪問リハビリテーション研究会 地域研修会 in 山梨」参加・協力

「第2回訪問リハビリテーション実務者研修会」参加・協力

全国学術研修大会実行委員会)

1. 対象期間 平成 18 年 3 月 24 日～平成 23 年 12 月 11 日

2. 総括

第 46 回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨は、山梨県理学療法士会（以下、当士会）が担当し平成 23 年 10 月 6 日（木）・7 日（金）甲府市湯村にある甲府富士屋ホテル、常磐ホテルの二つのホテルを会場とし開催した。

総参加者 1,978 名（会員 1,610 名、非会員 63 名、学生 12 名、市民公開講座一般の方 177 名、業者関係 76 名、招待者 13 名、運営委託会社 27 名）。参加会員の地域は、関東甲信越ブロックからが 56.3 % であったが、47 都道府県すべての地域から、平日開催にもかかわらず多くの会員の参加をいただいた。

今大会に向け当士会では、10 年前の県士会創立 30 周年を機に全国規模研修会検討委員会を立ち上げ情報収集を開始した。平成 19 年に山梨県理学療法士会総会にて全国学術研修大会への立候補が承認され、平成 19 年 12 月 9 日に協会理事会にて担当県士会としての決定を受け、具体的な準備に取り掛かった。また、イベント会社は学会サービスとした。

情報収集・広報では全国研修会の視察として、第 42 回茨城大会、第 43 回北海道大会、第 44 回三重大会、第 45 回愛媛大会（引継ぎ）、第 46 回宮崎学会、第 30 回関東甲信越ブロック新潟大会に参加し、各道県の工夫を凝らした企画と運営について学び、今大会にも活かすことが出来た。全国規模の研修会開催という大役にノウハウを持たない県士会が挑戦するという事で各都道府県士会からも力強いご支援を頂いた。

しかし、大会開催の 7 ヶ月前には、東日本大震災が起こり、それに伴う計画停電の影響などから、一時開催が危ぶまれたが、盛会裏に終えることが出来た。

開会式には、来賓として横内正明山梨県知事、宮島雅展甲府市長、今井立史甲府市医師会長、米倉甫明山梨県リハビリテーション病院・施設協議会長、藤巻秀子山梨県看護協会会长、山本伸一山梨県作業療法士会長、内山量史山梨県言語聴覚士会長にご臨席いただき、ご祝辞を頂戴した。

テーマは「原点回帰 “再考・今、理学療法士に何が求められているか”」とした。趣意書にもある通り、若い会員が増える中、各方面からの声を真摯に受け止め、それを更なる飛躍の糧と出来るようにとの思いからである。そのため企画面では、特に若い会員たちに参加してもらえるような内容・講師共にしたいと考え、また、理学療法士という職種を足元から見直し、周りからの率直なご意見をいただき、今後の発展につなげて行き、企画は出来るだけシンプルにしたいとの思いを組み立てていき、協会教育局長、研修部長のアドバイスを受けながら煮詰めていった。最終的には特別講演 1 題、市民公開講座 1 題、分科会 11 題、テクニカルセミナー 6 題、クリニカルセミナー 3 題、特別講座 1 題、ポストセミナー 1 題、山梨県理学療法士会セミナー 1 題、自由枠セミナー 2 題を企画した。

運営面では、山梨には分科会に対応し、今回の参加人数に対応できるような公共の会場が存在しないという問題点があり、いくつかの離れた会場をシャトルバスで結ぶという案もあったが、時間の面で現実的ではなかった。向かい合わせのホテルでの開催は、会場費が高くなるというデメリットもあるが現実的な選択であった。また、

開始時間も11時スタートという時間を設定したこと、会員が前泊しなくても当日出発すれば参加できるように設定した。その結果、参加人数が確保されたものと考える。甲府駅から会場までのアクセスは、タクシーや路線バスでも大きな不便は無いと思われたが、シャトルバスを運行したことにより利便性を高めることが出来た。

広報・渉外面では財政的な面でも非常に厳しいものがあったが、県内の会員が所属する病院施設を中心に寄付または広告料をいただいた。これは、各会員の各所属機関での働きが高く評価されていることと考え、また、多くの理学療法士をスタッフとして送り出していただいたことに感謝している。さらに、今回、無事開催できたことは、主催である日本理学療法士協会の強力なサポートがあつたためであると認識し、非常に感謝している。そして本大会を山梨県士会創立40周年の記念年に開催できたことは大変うれしく思う。

当士会の次の10年を考えた時、今回の大会開催での当士会の団結、会員の結びつきが強くなったことは、言うまでもないが、さらに大きな力となり、今後の当士会の発展に大きく寄与するものと思われる。この大会で得たものを更に発展させ、若い力が地道であっても理学療法また県士会活動を積極的に支えていく、力強い基盤が出来たと感じている。

各局総括

【運営局 局長 笠井 斗志夫】

事前の準備段階では、スタッフ委嘱状・派遣依頼公文書で運営委員の氏名誤字の指摘が数件あった。急速、氏名誤字確認を協会登録名簿と照らし合ますが、協会名簿自体に誤字があり、最終的に各施設所属長に誤字の確認を依頼し修正した。原因としては、スタッフ派遣を募集した時の返信をファックスで記名して頂いたため、書体が読み取れずにデータ化する時に誤字を入力してしまった。講師担当スタッフを企画局に一任した為、講師担当スタッフ増員の連絡が運営局に入らず、抄録誌の運営委員一覧から漏れてしまった方がいたため大会間際で修正した。

協会加入の団体総合補償制度費用保険(WIZ)について確認した所、当大会の運営スタッフが対象である事が解った。この様な保険が有る事を事前に担当者へ通知しておくと準備する側は安心できると思われる。

大会当日は開会式関係も担当責任者(事務局)を付けて連絡調整を行い来賓の出迎え・受付誘導等のマニュアルを作成した為、段取りにミスが出ずに終了できた。受付については、両ホテル会場に設け1カ所に集中しない様に分散させた。また、事前登録者は参加登録用紙の記入を省略した事と、窓口対応を参加者1名に対しスタッフ1名で対応し(過去大会は1対2であった)窓口数を2倍設置出来た事で受付がスムーズに流れ周囲の混乱が無く運営出来たと思われる。

廊下・階段については、各講演の入れ替え時に各会場の混雑状況を見ながら臨機応変に誘導した。特に混雑した時の階段については転落事故を予防するため誘導員を階段に1列に配置して片側通行で誘導した。そして、会場外の道路横断については、警備員7名を依頼し誘導した為、速やかな誘導がはかれた。

甲府駅と会場を結ぶシャトルバスの利用率は高く、2日目はバスの運行を増便しさらに最終終了時間も延長した。1日目の全日程終了時にシャトルバス・タクシー乗り場に約500名が殺到し、急速誘導員を増員して整列待機させた。また、ホテル自動車出口が1カ所であったことと、隣接道路が帰宅ラッシュであったことが重なり、駐車場から出る最後尾車は50分もかかってしまった。プログラム終了時間を分散するなどの検討が必要だったと思われた。今回、実行委員スタッフはPT会員のみで学生を起用しなかった為、責任を持って自分の役割を真剣に取り組んで頂き、引き締まった大会運営が出来た。

【広報・渉外局 局長 杉田 隆信】

予算計上に際して重要な機器展示出展料等の依頼では、当初の見込み通りの結果には至らなかった。

機器展示は、予算では36小間の出展を予定。約250社に対して趣意書を発送した。展示等の依頼については、本大会も予算資金集めの要素が強く、出展を根気強く数度依頼したが、最終的には14社から出展になった。(有料14小間、無料6小間)。

また、当士会は愛媛大会からの引継ぎを受けたものの、以前からのノウハウや経験がなく、試行錯誤を繰り返しながら手探りの中での運用となつたことは否めない。

問題点としては、①経済状況が厳しい中での予算資金集めは限界があり対応を再検討する必要がある。②担当者が業務時間を費やして奔走したが、時間的・手法的に困難な状況であった。③企業側のメリットが少ない。④講義・実技中心の大会の性質上、展示会場の見学時間が取りにくく。要望としては、①協会補助金増額の見直しの検討。②担当士会が資金集め奔走するという形態の見直しの検討。③若い会員への最新機材や情報提供目的で、出展費用を抑えて出展し易くする。④協会で運営の指針となる詳細なマニュアルを作成する。

【企画局 局長 高村浩司】

大会当日のアクシデント対応では、電車が止まってしまい、講師が間に合わない状況でありタクシーで新宿から来ていただいた。講師の到着が遅れ、お弁当の賞味時間に心配があった為、ホテルレストランを案内した。新プロ対象講演で聴講券が不足し、配布できない参加者には住所・氏名を記入して頂き後日発送して対応した。講師担当を1対1にした為、事前連絡も密に出来ており細かい打ち合わせが出来ていた為、講師の先生も安心して会場入り出来ていた。

【事務局 局長 宮尾一久】

大会準備に入った段階で大会マニュアル及び大会規定がないため、準備段階で戸惑があった。この為、過去の44回三重大会、45回愛媛大会の準備委員から資料や情報提供を受け、徐々に準備を進める状態であった。今後の大会運営を円滑に推進するには、大会規定と詳細に渡る運営マニュアルの作成が急務と考える。

又、全研の担当理事、教育局長、研修部長と指導体制が確立されていたが、各担当者の決定権が不明確で、準備段階の前半では二転三転する意見に翻弄されることも多々あった。

次に、協会事務局との連絡体制についてだが、開催1年前位から、協会との連絡窓口を一本化するとの連絡により協会事務局員1名と全研事務局長が担当となった。しかし、徐々にそのルールも崩れた。幸い双方の臨機応変な対応により大きな混乱には至らなかったが、協会事務局として大会を全面的にバックアップするという視点に立ち、担当士会が安定して開催に向け取り組みできるよう、関係作りの構築を図っていくことが望まれる。

その他講師・司会者とのやり取りは企画局と連携し、事前の交通手段の調査や宿泊の有無、さらに「理学療法学」の原稿依頼など実施した。協会員の講師・司会の旅費交通費の取扱に関しては、書類提出など変更点が多かったため協会事務局より大会事務局にて説明指導頂き、比較的スムーズに書類の提出がなされた。

事務局への電話やメールでの問い合わせは、事前登録に関する金額や振込みについての内容が多かったが、件数としては予想より少なく対応可能であった。

最後に、報告書の作成に際して、マニュアルが存在しないため、過去のものを参考して斎藤秀之現局長のご指導の下に作成を行なうことができた。報告書に求める基本事項についてはマニュアルの中で明示していただきたい。尚、財務に関しては、別記の財務担当業務総括・決算書総括をご参照いただきたい。

3. 本大会の実績データのまとめ**【テーマ】『原点回帰 “再考・今、理学療法士に何が求められているか”』****【プログラム】**

I. 特別講演	1題
II. 市民公開講座	1題
III. 分科会	11題
IV. テクニカルセミナー	6題
V. クリニカルセミナー	3題
VI. 特別講座	1題
VII. ポストセミナー	1題
VIII. 山梨県理学療法士会企画セミナー	1題
IX. 自由枠セミナー	2題

【会場整理費(大会参加費)】

事前登録 10,000円 (協会員:協会会員証カード・郵便振替)

事前登録 12,000円 (非協会員:郵便振替)

当日登録 12,000円 (協会員)

当日登録 15,000円 (非協会員)

当日登録 2,000円 (学生)

【大会特別号】 1,000円**【参加者数】**

総参加者数 1,978名

内訳: 協会員 1,610名、非協会員 63名、学生 12名、一般市民 177名、

書籍・機器展示・報道等の関係者 76名、来賓 13名、運営委託会社 27名

【後援】 18団体 【協賛】 48団体**【医療介護福祉機器展示】 14社 (有料14小間、無料6小間)**

【プレゼンテーション型機器展示】 1 社
 【広告】 44 団体 【販売】 書籍 1 社
 【運営協力会社】 株式会社 学会サービス・株式会社 トップツアー
 【開会式】 来賓：横内正明山梨県知事、宮島雅展甲府市長、今井立史甲府市医師会長
 米倉甫明山梨県リハビリテーション病院・施設協議会長
 藤巻秀子山梨県看護協会会長、山本伸一山梨県作業療法士会長、内山量史山梨県言語聴覚士会長
 【祝電】 山梨県作業療法士会
 【次期学術研修大会（鹿児島）、次期学術大会（兵庫）広報】 広報のスペースを確保

4. 収支決算書

第 46 回日本理学療法士協会学術研修大会 in 山梨 収支決算書報告
 総会資料参照

平成 23 年度山梨県理学療法士会最終収支報告 総会資料参照

平成 23 年度山梨県理学療法士会財産目録 総会資料参照

平成 23 年度山梨県理学療法士会什器備品目録 総会資料参照

※第 1 号議案は、拍手多数にて承認される。

第 2 号議案 平成 23 年度監査報告

平成 24 年 10 月 20 日 中間監査実施

平成 24 年 4 月 10 日 年度末監査実施

1. 監査内容

事業報告、収支報告並びに通帳、財産目録、什器備品目録について

2. 監査結果

- 年間事業の執行は、順調に行なわれたものと認める。
- 決算報告書、会計帳簿等についての監査の結果、財産は適正に管理運営されていたものと認める。

第 3 号議案 平成 24 年度事業計画・予算（案）審議

「事業計画」

会長）県士会総会、理事会、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議、慶弔関係、連盟に出席予定

副会長）理事会、担当部局会議の開催・出席予定

監事）中間監査、年度末監査の実施予定

代議員）日本理学療法士協会代議員会出席予定

事務管理局）

総務部

会員の登録管理（包括的会員管理システムへ移行）、諸会議の開催と議事録の保存、交流会の開催、等

財務部

会費徴収（包括的会員管理システムへ移行）、等

広報局）

広報部 1. PT 週間活動として、協会作成の PT あ！を配布

2. いきいき山梨ねんりんピックへの参加

3. 公開講座への協力

4. パンフレット・グッズの作成、等

会報部 1. 会報誌発行（年 4 回）

2. 部内企画会議・編集会議開催

HP 管理部 1. HP 管理部会議（適宜）

2. 士会ホームページ随時更新、等

学術局）

生涯学習部 15 テーマ実施予定

学術集会部 第16回山梨県理学療法士会学術集会開催の要項発送 平成24年12月9日(日)予定
 学術研修部 学術研修会(年4回開催)予定
 *実技を含む研修は、参加制限を設けないように講師と検討中

(社会局)

- 委託事業部 1.高齢者権利擁護等推進事業
- 2.いきいき山梨ねんりんピック2012
- 3.地域リハビリテーション従事者研修会
- 4.テーマ別介護講座、等

スポーツ理学療法部 1.スポーツ理学療法勉強会 3回実施予定
 2.競技スポーツへのサポート、等

(企画局)

- 公開講座部 一般市民に向けた講演会を予定
- 企画研修部 士会員を対象とした2回の研修会を予定
- 調査研究部 アンケート調査を実施予定

(福祉厚生局)

- 医療保険部 H24年度診療報酬に関する情報整理と配信、等
- 介護保険部 医療・介護保険報酬に関する勉強会の開催
 介護保険改定の情報収集と情報発信、等
- 地域連携部 1.理学療法相談窓口の対応
 2.第12回地域理学療法研修会開催予定、等

(法人化実行委員会)

一般社団法人格の取得：取得に向けて必要事項の確認、理事会への提案、等

(表彰委員会)

協会賞推薦、及び他機関からの表彰の推薦依頼に関して検討する

(選挙管理委員会)

選挙の開催(日本理学療法士協会代議員選挙)

(40周年記念事業検討委員会)

記念誌の発送 寄稿者謝礼送付

(訪問理学療法委員会)

全国訪問リハビリ地域リーダー育成研修会 参加

山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会 参加・協力

(平成24年度山梨県理学療法士会予算(案))

総会資料参照

第4号議案 その他

質疑応答(意見)

法人化に向けて忙しくなり、年度末の煩雑さが考えられる。事務局負担とならないように、新しい事務局を作つて事務員を雇うなど、県士会全体に負担が分散(県士会費の値上げ)できる方法を検討してはどうか。

(応答と補足)

法人化については、多忙が考えられ、計上した予算案以上になる可能性がある。現在は、県士会費の値上げは考えていないが、今後、事務局創設に踏み切った時には検討したい。

また、事務管理局の総務を業務と並行していく事は負担があり、外部に委託している県もある。ホームページ管理と併せて、24年度内に検討していく。

予算案の役員行動費について、今年度は県内の3士会合同会議を考えているので、昨年より上がった事を承知して頂きたい。

事業計画案・予算案は、拍手多数にて承認される。

各部活動報告

学術局 生涯学習部発

□ JPTA Membership Cardについて

日本理学療法士協会から各会員に JPTA Membership Card (カード) の会員証が貸与されました。

この会員証は研修会で必要になります。研修会ではカードリーダーでカードを読み込み、受付が完了となります。研修会には必ずカードをご持参してください。



□ 生涯学習履歴・マイページをご確認下さい。

新人教育プログラムの履修状況は、原則として「会員マイページ」を利用した協会一元管理となります。従来の生涯学習手帳も見直すこととし、今年度から配布されません。従って、従来の研修会でも検印作業が廃止となります。所属先・自宅にログイン情報の記載されたハガキが郵送されましたので確認をお願いします。

生涯学習手帳とHP履修履歴を照らし合わせて履修状況が反映されているかの確認をお願いします。

●問い合わせ先：学術局生涯学習部 遠藤公士

(山梨リハビリテーション病院理学療法課内 E-mail: end_koji@yahoo.co.jp)

広報局 広報部発 □ PTの日：3分でわかる7月17日。



今を遡ること44年前、高度経済成長により国民が豊かになり、日本が世界へ飛躍しようとしていた昭和41年7月17日。この日我々にとって2つの大きな出来事が起きたことをご存知でしょうか？1つ目は、今なお絶大なる人気を誇る子供達のヒーロー「ウルトラマン」のTV放送が始まったこと。2つ目は、お年寄りのヒーロー「理学療法士」の協会が結成されたことです。(理学療法士110名で結成された日)

現在、諸先輩方の活動やTV等のメディアで「理学療法士」の認知度は少しずつ上がってきている印象があります。また、医療や介護、福祉の分野にとどまらず、予防医学やスポーツ医学等さまざまな分野で理学療法が展開されています。

しかし、理学療法士数の増加により、その活躍できる場のさらなる構築が急務であります。そのためにも、理学療法士の有効性を分かりやすく説明し、様々な領域に向け発信していく必要があります。

そこで、協会が設立された7月17日を「理学療法の日」と定め、この日を基準とする1週間を「理学療法週間」として、全国各地において種々な行事が開催されています。

会員皆様が広報活動を行い、今後の理学療法について考えるよい機会にしていただければ幸いです。(シュワッ!)

ちなみに知って得する豆知識

【9月1日言語聴覚の日。9月25日作業療法の日。】

●問い合わせ先：広報局広報部 清水真治

(石和温泉病院理学療法室内 TEL 055-263-0111)





福祉厚生局 医療保険部・介護保険部発

□ 平成24年度の診療報酬・介護報酬の同時改定についての詳細

平成24年度診療報酬改定について

1、急性期リハビリテーションについて

◆ 初期・早期リハビリテーション加算 P427～, 433～ Ⓜ 761～770 (P) 332～

【旧】開始日～30日まで 45点/単位 ⇒【改定後】(新) 初期加算 開始日～14日まで 45点/単位
早期リハ加算 開始日～30日まで 30点/単位

2、亜急性期・回復期リハビリテーションについて

◆ 亜急性期入院医療管理料 P148, 871 Ⓜ 440 (P) 41, 117

【旧】亜急性期入院医療管理料 1 2050点 ⇒【改定後】 2,061点
亜急性期入院医療管理料 2 2050点 ⇒ 1,911点

◆ 回復期リハビリテーション病棟入院料 P145, 865 Ⓜ 435 (P) 40, 116
⇒【改定後】(新) 入院料 1 1,911点

【旧】回復期リハビリテーション病棟入院料 1 1720点 ⇒ 入院料 2 1,761点
回復期リハビリテーション病棟入院料 2 1600点 ⇒ 入院料 3 1,611点

3、維持期リハビリテーションについて

◆ 標準的算定日数越え(月13単位)の疾患別リハビリテーション料(要介護被保険者)

P427～437 Ⓜ 758 (P) 332～334

• 標準的算定日数を超えて算定する脳血管疾患等リハビリテーション料

【旧】(I) 245(廃用症候群235)点 ⇒【改定後】 221(212)点
(II) 200(廃用症候群190)点 ⇒ 180(171)点
(III) 100(廃用症候群100)点 ⇒ 90(90)点

• 標準的算定日数を超えて算定する運動器リハビリテーション料

【旧】(I) 175点 ⇒【改定後】 158点
(II) 165点 ⇒ 149点
(III) 80点 ⇒ 80点

◆ 医療保険と介護保険の併給期間 P425 Ⓜ - (P) 498, 499

【旧】介護保険への移行後1月まで算定可能 ⇒【改定後】移行後1月まで13単位/月まで算定可能
(介護保険におけるリハを行った日以外) 移行後2月まで7単位/月まで算定可能

4、その他

◆ 外来リハビリテーション診察料(新設) P189, 963 Ⓜ 486 (P) 165

【旧】毎回医師の診察が必要 ⇒【改定後】外来リハビリテーション診療料 1 69点/7日
(再診療等を算定) 外来リハビリテーション診療料 2 104点/14日

◆ 急性増悪時の訪問リハビリテーション P248 Ⓜ 552 (P) 194

在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料

- 1 同一建物居住者以外の場合 300点/単位
- 2 同一建物居住者の場合 255点/単位

【旧】患者1人につき、1と2を合わせて週6単位まで ⇒【改定後】同

(退院の日から起算して3月以内の患者にあっては (新) 急性増悪等のため一時的に必要性が認められる場合、6月に1回、14日間を限度として、週12単位まで。
1日4単位に限り算定する。

平成24年度介護報酬改定について

1、訪問リハビリテーション

- ◆ 医師の診察頻度の見直し

→指示を行う医師の診察日から3ヶ月以内に行なわれ場合に算定

- ◆ 訪問介護事業者との連携 300単位/回(3月に1回を限度)

→訪問介護事業者のサービス提供責任者と共に利用者宅を訪問し、利用者の身体の状況等の評価を共同して行い、訪問介護計画を作成するまでの必要な指導及び助言を行なった場合に算定

- ◆ 訪問看護ステーションからのPT等の訪問看護 316単位/回(1回は20分)

→1日2回を超えて行なう場合、1回につき所定単位数90/100を乗じた単位数で算定

- ◆ サテライト型訪問リハビリテーション事業所の設置が可能

2、通所リハビリテーション

- ◆ リハビリテーションマネジメント加算 230単位/月(据え置き)

→1月に4回以上通所していること

→新たに利用する利用者について、利用開始後1月までに、居宅を訪問しリハビリテーション提供計画書を策定

- ◆ 理学療法士等の訪問による評価 550単位/回(1月に1回を限度)

→利用者の居宅を訪問し、通所リハビリテーション計画の作成及び見直しを行なった場合に算定

- ◆ 個別リハビリテーション実施加算の算定要件 80単位/回(据え置き)

→所要時間1時間以上2時間未満の利用者について、1日数回算定可

- ◆ 短期集中リハビリテーション加算 1月以内 120単位/日 1月超3月以内 60単位/日

→短期集中実施加算に含まれていた個別リハビリテーション実施加算の評価を切り分ける見直し

- ◆ 重度療養管理加算 100単位/日

3、通所介護

- ◆ 個別機能訓練加算(I) 42単位/日

- ◆ 個別機能訓練加算(II) 50単位/日

4、介護予防

- ◆ 選択的サービス複数実施加算(I) 480単位/月

→運動器機能向上サービス、栄養改善サービス、口腔機能向上サービスのうち2種類の場合に算定

- ◆ 選択的サービス複数実施加算(II) 700単位/月

→選択的サービスのうち3種類の場合に算定

5、介護老人保健施設

- ◆ 入所前後訪問指導加算 460単位/回

→入所期間が1月を超えると見込まれる者の入所予定日前30日以内又は入所後7日以内に、退所後生活する居宅を訪問し、施設サービス計画の策定及び診療方針を決定した場合に算定

- ◆ 短期集中リハビリテーション加算 240単位/日(据え置き)

→入所者が過去3ヶ月の間に、当該介護老人保健施設に入所したことが無い場合に算定

→短期集中リハビリテーション実施加算の算定途中又は算定終了後3ヶ月に満たない期間に、4週間以上の入院後に介護老人保健施設に再入所した場合で、短期集中リハビリテーションの必要が認められるものは算定可

→4週間未満の入院の場合は次に定める状態であるもの(脳梗塞、脳出血、骨折等)

*理学療法士等が関連する改正内容を記載しました。詳細は厚生労働省ホームページ等を参照してください。

介護保険部

●問い合わせ先：福祉厚生局

医療保険部 小林泰彦(白根徳洲会病院理学療法科内 TEL 055-284-7711)

介護保険部 河野裕一(市川三郷町立病院リハビリテーション科内 TEL 055-272-3000)



社会局 スポーツPT部発

□国際テニス大会報告 インジャリーデビューを果たしました!!

三月の春風が吹き荒ぶ中、毎年恒例の甲府国際オープンテニス 2012 が開催されました。そんな中、インジャリーデビューをしたので報告させていただきます。

インジャリーとはナンジャリー？と思う方もいると思うので少し説明を…。テニスの試合中に怪我をした際、3分間の治療時間が許されますが、これをインジャリー・タイムと言い、我々PTがコートに呼ばれ緊急対応を求められる最も緊張する場面です。

幸運にも過去にインジャリーで呼ばれることが無かったのですが、今回、ま・まさかの呼び出しが…。頭の中が真っ白になりながらコートへ駆けつけると選手から「トスを上げるときに肘が痛い。」との訴えが!! 肘関節の伸展に手関節の掌屈が加わることで痛みが出る様子でした。アイシング後、テープィングを巻くことになったのですが、なんと肘のテapingは巻いたことが無い!! 肘伸展の制動と前腕の圧迫で患部のストレスを軽減してみたのですが、焦りと日頃の練習不足からてんやわんやになってしまいました。同僚の補助のおかげで何とか3分で巻き終わり、選手に状態を確認するとなんとなく納得した様子でコートへ戻りました。選手がテapingをはずしてしまうかもしれないという不安がありましたが、どうやら最後まで巻いていてくれたようです。

こんな内容でインジャリー？と思いつながらも日頃の練習不足を痛感するデビューとなった忘れない大会となりました。

スポーツ理学療法部

H26高校総体における ボランティア・スタッフ募集

山梨県理学療法士会では平成26年に南関東4都県で開催される全国高校総体に協力し、山梨の各会場で理学療法サービスを提供できるボランティア・スタッフを追加募集いたします。

山梨では陸上・卓球・サッカー・ボート・自転車・ホッケー・ウェイトリフティング・カヌーの8競技が予定されています。すでに30名ほど登録いただいておりますが、まだスタッフ数が足りない状況です。是非多くの皆様のご協力をお願いいたします。

つきましては、準備のための説明会・勉強会を近日中に開催いたしますので、下記まで新規追加希望のご連絡をお願いいたします。

記

登録内容：氏名・所属・連絡先・PT 経験年数・希望があれば種目等

連絡先：山梨県理学療法士会スポーツ理学療法部 小尾伸二・山内正樹

〒409-3898 山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部

TELEFONE 055 (273) 9805 FAX 055 (273) 8372

E-Mail: sohi@yamanashi.ac.jp

●変更手続きについて● 平成24年4月より日本理学療法士協会で包括的会員管理システムが導入され、WEB上にて入会申請や異動申請などの各種申請が可能となりました。

入会をされていない新人会員の方は、会員登録するようお願いいたします。

※ 従来の郵送による手続きも可能です。

●慶弔申請の窓口は事務管理局です● 慶弔事項（一親等及び配偶者）が発生しましたら、事務管理局まで速やかにご連絡をお願いします。

●財務部より：楽天カードへの切り替え● 今年度からの、日本理学療法士協会・山梨県理学療法士会会費徴収は、原則として『楽天カード』にて行われます。ニコスカードから楽天カードへの切り替えがお済みでない方は、『楽天カード（日本理学療法士協会会費徴収用）』の発行をお早目にお願いいたします。お手数ですが円滑な会員運営の為、会員のみなさまのご協力をお願いいたします。

ご不明な点につきましては、下記の問い合わせ先にて確認下さい。

●問い合わせ先：事務管理局 斎藤（甲府城南病院リハビリテーション科内 TEL 055-241-5811）

第13回日本早期認知症学会のご案内

《認知症という「impairment」について》

認知症は病気でしょうか？ いいえ、認知症は「impairment」です。この事を一番知っているのは障害学を学んでいる私たちPTですね。認知症の早期発見と治療、それは背景にある病気を早期に発見し治療していくことです。年相応の物忘れと、病的な記憶障害をいち早く見分けられるのは現場で患者に接する我々や家族です。私たちが認知症を理解していれば治るものは治り、進行を遅らせることも出来る確率が高くなります。そして一般の方達にも認知症に対して医療が出来ることを分かっていただかなくてはなりません。第13回日本早期認知症学会が甲府市総合市民会館で開催されます。この機会に認知症という impairment について一緒に勉強してみませんか。

プログラム等詳細はホームページをご覧下さい。ご不明の点は大会事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

（第13回日本早期認知症学会）

- テーマ：「認知症の早期発見と治療 NOW！」
- 期日：平成24年9月16日（日）・17日（月） ●会場：甲府市総合市民会館
- 大会長：甲府脳神経外科病院 理事長 篠原 豊明
- 事務局：〒400-0805 山梨県甲府市酒折1-16-18 甲府脳神経外科病院
- 大会ホームページ：<http://www.jsed-taikai.jp/> ●e-mail：jsed13th@yahoo.co.jp

（市民公開講座） 1) あした葉劇団公演

- 2) 特別講演『認知症の医療とケア ー今とこれからー』

●講師：長谷川 和夫 先生（認知症介護研究・研修東京センター）

平成24年度学術研修会案内

●第1回学術研修会●

- 日 時：平成24年7月1日（日） ●場 所：健康科学大学（仮）
- テーマ：「関節運動学的アプローチ（AKA）－博田法－～基礎と臨床への応用～」
- 講 師：恵信甲府病院 リハビリテーション部 橘田 薫先生 アシスタント3名ほど検討中
- 定 員：未定

●第2回学術研修会●

- 日 時：平成24年8月19日（日） ●場 所：健康科学大学（仮）
- テーマ：「IDストレッチ～基礎と臨床応用～」
- 講 師：名古屋大学 医学部保健学科 理学療法学専攻 教授 鈴木重行先生
- 定 員：未定

●第3回学術研修会●

- 日 時：平成24年9月22日（土） ●場 所：健康科学大学（仮）
- テーマ：「PNFコンセプト応用した座位から立位への動作」
- 講 師：ヒューマンコンディショニングPNFセンター センター長 市川繁之先生
- 定 員：未定

●第4回学術研修会●

- 日 時：平成25年2月（＊現在検討中） ●場 所：未定 ●テーマ：「未定」
 - 講 師：京都大学 医学部 人間健康科学科 大畠光司先生
- 問い合わせ先：学術局学術研修部 名取（甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131）

第12回地域理学療法研修会のご案内

- テーマ：「明日から役立つ住環境整備と福祉用具活用のポイント」
- 講 師：（有）伊東工務店 伊東誠三氏（一級建築士・一級福祉住環境コーディネーター）
- 日 時：平成24年10月12日
- 場 所：県立青少年センター別館 2階 多目的ホール
- 対 象：士会員1～3年の方を優先して受講していただく予定
- 定 員：180名

（人数が超過した場合は、新人教育プログラム対象者を優先して選考致します。）

- 問い合わせ先：福祉厚生局地域連携部 中部（北杜市立塩川病院リハビリテーション科内 TEL 0551-42-2221）

第16回山梨県理学療法士会学術集会 開催ならびに演題募集のお知らせ

●日 時：平成24年12月9日(日) 午前9:30受付開始 10:00開演予定

●会 場：山梨県立大学 池田キャンパス（甲府市池田1-6-1）（予定）

※都合により変更になる場合があります。

●プログラム

午前：特別講演 「疼痛の脳内機構とニューロリハビリテーション」

講 師 畿央大学 教授 森岡 周 先生

午後：一般演題（コンピュータープレゼンテーションによる口述発表）

対象者：県士会所属理学療法士

※発表主演者には、新人教育プログラム単位 3単位 C-6の単位が認定されます。

●発表予定の方へ 事前にエントリーが必要です。件名を「演題申し込み」と記載し、下記必要事項を記入の上、平成24年7月22日(日)までに e-mail (PC) にてお申し込みください。確認後、関係書類をお送り致します。e-mailでの申し込みが出来ない方は下記電話番号にご連絡ください。

●託児室について

○開設時間 平成23年12月9日(日) 9:30～16:00

○対象年齢 0歳～小学校低学年 ○定 員 同一時間帯約10名程度

○保育料金 無料（保険料は県士会が負担致します）

○食 事 昼食、おやつは各家庭での準備をお願いします。

○申込方法 件名を「託児室申し込み」と記載し、下記必要事項を記入の上、平成24年11月15日までに学術集会部へ e-mail (PC) にてお申し込み下さい。確認後、正式な利用書類をお送り致します。

※演題、託児室共にお申し込み後、一週間以内に受理のお知らせがない場合は、お手数ですが下記電話番号にご連絡下さい。

必要事項（演題）

- ① 申込者名、フリガナ、所属（施設名、自宅会員）
- ② 連絡先住所、携帯電話番号、e-mail(PC) ③ PT経験年数
- ④ その他、ご要望等

必要事項（託児室）

- ① 申込者名、所属（施設名、自宅会員）
- ② 連絡先住所、携帯電話番号、e-mail(PC)
- ③ お子様の年齢と人数 ④ その他、ご要望等

●申し込み・問い合わせ先

〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855

山梨リハビリテーション病院 理学療法課内 学術集会部 菊池 信、清水一彦、鮎川将之

Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569

e-mail gakkaibu.yamanashi@gmail.com



～途絶えることのない
バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part16-1

健康科学大学リハビリテーションクリニック 森田伸哉

こんにちは、富士温泉病院の河原 忠司先生からバトンを預かりました健康科学大学リハビリテーションクリニックの森田伸哉です。

富士河口湖町に来て、はや8年の月日が流れました。富士河口湖町に来るきっかけは健康科学大学への入学でした。その後、卒業し健康科学大学リハビリテーションクリニックに勤めています。大学在学中は卒業したら地元に帰る予定だったのですが、大学時代からお世話になったサッカークラブとの関わりが、私にとってとても大きく、どうしても大好きなサッカーに関わりたくて、富士河口湖町に残りました。

そんな富士河口湖町で、サッカーを通じて知り合った友人から、ミニトマトやセロリなどの苗をいただき家庭菜園を始めました。昨年もミニトマトをいただいたのですが、台風で茎が折れてしまい、トマトが少ししか実りませんでした。最近 Facebook で、職場の後輩が、家庭菜園を始めたことを知り、秘かにライバル心を燃やしております(笑)。今年は昨年の失敗を生かして、目標100粒実らせたいと思います。



次回は、『石和南整形外科クリニックの庄子理総先生』へバトンをお渡します。

原稿を募集しています

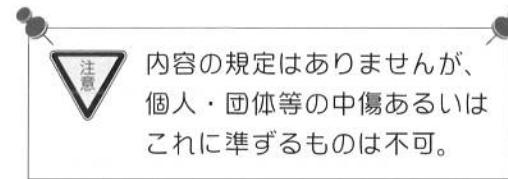


会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

※第135号発行は、9月中旬を予定している為、

締め切りは、8月上旬です。



●問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟
一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション
TEL 0553-20-5255 E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

Part16-2

湯村温泉病院 手塚 麻希子

竜王リハビリテーションの工永雅子先生からバトンを預かりました湯村温泉

病院の手塚麻希子です。

さて、当院の理学療法科は今年、5名の新入職員を向かえ、総勢48人体制で平成24年度が始まりました。つい1ヶ月まで学生だった新人さんたちのやる気と好奇心にあふれた姿を見ると、私も身が引き締まる思いです。私も、入職した時は沢山の先輩にお世話になりましたが、もう今は後輩の人数の方が多くなってきました。正直、私もうかうかしていられません…!!

そんな中私は今年、ひとつの夢が出来ました。それは、「仲間とともにスキルアップする」事です。私はまだ経験年数も浅く、技術も知識も不足している部分は沢山ありますが、今だからこそ同じような悩みを共有したり相談したり乗ったりと、沢山の人と話をして行きたいと思っています。そして、私が普段頑張るのは、応援してくれたり支えてくれる仲間が居るからだと思います。これからも、そんな仲間を大切にし、そして患者さんと向き合いながら、毎日を過ごしたいと思います。「理学療法士になる」という夢を達成した今、新たな夢に向かって頑張っていきます。



次回は、『甲府南ライフケアセンターの長坂和樹先生』へバトンをお渡しします。

編集後記

昨年度に引き続き本年度も会報部を担当させて頂きます、一宮温泉病院の菊池と申します。本年度第一号の会報誌が無事完成し、会員の皆様にお配りする事ができました。本号は、県士会総会、平成24年度同時改訂の内容等盛りだくさんとなっております。昨年度の経験を生かし、本年度もよりよい会報誌作成を部員一同心がけていきたいと共に、士会員の皆様のご意見・ご感想も隨時お待ちしておりますのでご協力の程よろしくお願いします。

菊池 悟



- 発行 ● 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 小野 貴博 糸井 美里 矢崎 博美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● ☎405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井1754
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256
一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp